

平成 28 年度 北海道文化財年報



上ノ國八幡宮本殿
(平成 28 年度道指定)



矢不來館跡出土品
(平成 28 年度道指定)



青苗遺跡出土品 (平成 28 年度道指定)

平成 29 年 8 月

北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

は じ め に

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。北海道教育委員会では、文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や多様な情報の発信などを通して、文化財の保護・活用に取り組んでいます。

この年報では、「北海道豊原4遺跡土坑出土品」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報を御活用いただき、文化財をより身近に感じていただければ幸いです。

●この文化財年報に関するお問合せ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電 話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】

表紙の写真3点は平成29年3月31日に指定された道指定有形文化財(建造物・考古資料)です。平成28年度は、北海道に古くから根ざした宗教、生活文化の歴史遺産として、3点を指定しました。

○「上ノ國八幡宮本殿」

「上ノ國八幡宮本殿」は、元禄12年(1699)に建立されたと推定される、北海道内に現存する神社建築では最古に属する、北海道神社史上貴重な歴史遺産です。

○「矢不來館跡出土品」

室町時代の陶磁器「天目茶碗」をはじめ、道南で館主たちが営んでいた生活や文化の様子がうかがえる、貴重な史料です。

○「青苗遺跡出土品」

擦文文化期における海浜での生活や交易の実態、のちのアイヌ文化へ続く海獣狩猟の状況を考察するための重要な資料です。

目 次

I	平成28年度文化財保護の主なあゆみ	P 1
1	新たに指定・登録された文化財	P 2
	(1) 国指定文化財	P 3
	(2) 道指定文化財	P 5
	(3) 国登録文化財	P 10
2	世界遺産登録を目指して	P 12
	(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について	
	(2) 4道県共通ホームページの作成について	P 13
	(3) 北海道の独自事業について	
	(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 14
3	北海道文化財保護強調月間について	P 15
4	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 17
	(1) アイヌ民俗文化財調査事業	
	(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業等	
5	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 18
	(1) 重要文化財	
	(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観	P 21
	(3) 史跡・名勝・天然記念物	P 23
6	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 27
7	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 29
8	発掘調査	P 32

Ⅱ 資料編

1 文化財

- (1) 文化財の指定状況(国指定・道指定) P 33
- (2) 国指定・選定文化財一覧 P 34
- (3) 道指定文化財一覧 P 40
- (4) 管内別市町村指定文化財一覧 P 46
- (5) 管内別登録文化財
- (6) 登録文化財一覧 P 47
- (7) 平成 28 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧 P 51
- (8) 平成 28 年度文化財パトロール P 60
- (9) 平成 28 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数
- (10) 平成 28 年度銃砲刀剣類の登録状況

2 埋蔵文化財

- (1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧 P 61
- (2) 平成 28 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と
北海道実施の所在・試掘調査一覧 P 62
- (3) 平成 28 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧
- (4) 平成 28 年度管内別発掘調査一覧
- (5) 平成 28 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数 P 63
- (6) 平成 28 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等
- (7) 平成 28 年度出土文化財認定件数と出土遺物量
- (8) 平成 28 年度出土文化財譲与件数

3 その他

- (1) 北海道教育推進計画 P 64
- (2) 平成 28 年度北海道文化財保護審議会 P 65
- (3) 北海道文化財保護審議委員一覧
- (4) 平成 28 年度銃砲刀剣類登録審査会 P 66
- (5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員
- (6) 北海道立埋蔵文化財センター
- (7) 平成 28 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会 P 68
- (8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧
- (9) 文化財情報の発信 P 69
- (10) 文化財関係機関・団体リンク

I 平成 28 年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(国指定・道指定・国登録)の文化財

国指定の重要文化財では、函館市にある「北海道豊原 4 遺跡土坑出土品」が重要文化財（考古資料）に指定されました。

道指定では、上ノ国町の「上ノ国八幡宮本殿」が有形文化財（建造物）、北斗市の「矢不來館跡出土品」及び奥尻町の「青苗遺跡出土品」が有形文化財（考古資料）に指定されました。また、岩内町の「岩内東山田筒文化遺跡」については、追加指定及び解除がされました。

国の登録文化財では、函館市所在の「旧藤澤家住宅主屋」と「函館 Y W C A 会館」が登録有形文化財に登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成 21 年 1 月 5 日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4 道県と関係 14 市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを行いました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関 5 者と共同で、平成 20 年度から毎年 10 月 8 日～11 月 7 日を北海道文化財保護強調月間に設定しています。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成 28 年度は期間中に、95 市町村で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座・シンポジウム等文化財に関するイベント 299 事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承

^{かなり}金成マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会などを実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村が主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を 23 件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う 155 件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は 65 件が実施されました。

1 新たに指定・登録された文化財

国指定重要文化財（考古資料）1件、道指定では有形文化財3件（建造物1件、考古資料2件）、史跡の指定・解除が1件あり、国登録は登録有形文化財（建造物）が2件ありました。

（１）国指定文化財

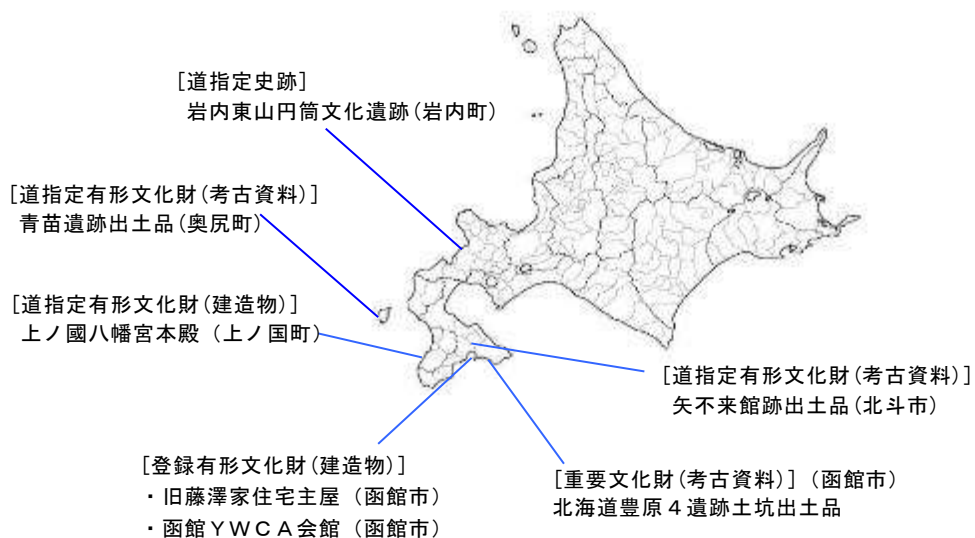
- 重要文化財（考古資料）〔平成28年8月17日付け〕
「北海道豊原4遺跡土坑出土品」（函館市）

（２）道指定文化財

- 有形文化財（建造物）〔平成29年3月31日付け〕
「上ノ國八幡宮本殿」（上ノ国町）
- 有形文化財（考古資料）〔平成29年3月31日付け〕
「矢不來館跡出土品」（北斗市）
「青苗遺跡出土品」（奥尻町）
- 史跡〔追加指定・解除〕
「岩内東山円筒文化遺跡」（岩内町）

（３）国登録文化財

- 登録有形文化財（建造物）〔平成28年11月29日付け〕
「旧藤澤家住宅主屋」（函館市）
「函館YWCA会館」（函館市）



(1) 国指定文化財

① 重要文化財（考古資料）

「北海道豊原4遺跡土坑出土品」（ほっかいどうとよはらよんいせきどこうしゅつどひん）

【指定日】平成28年8月17日

【所在地】函館市縄文文化交流センター

【員数】総数 70 点

NO.	種 別	員数
1	足形付土版	5 点
2	深鉢形土器	1 点
3	石器	64 点

【年 代】縄文時代早期末

【解 説】縄文時代早期の墓と思われる10基の土坑から出土した、副葬品と考えられる土器・土製品と、石器の一括です。特に土製品には、幼児または子供の足形・手形を押し当ててつくられた「足形・手形付土製品」5点が含まれています。

このような土製品は、北海道南部では早期のものが、また東北地方では後期～晩期のものが知られていますが、本例は前者の一例で、しかも現存最大の「足形・手形付土製品」を含んでいます。本件は、縄文時代の早い時期における、特異な葬送儀礼のあり方を知る上で、貴重な資料です。

【問合せ先】電話：0138-25-2030（代表）

ホームページ：<http://www.hjcc.jp/index.html>

1 全指定品



2 100号土坑(どこう)遺物出土状況



3 100号土坑出土足形・手形付土製品 (表・裏)



4 112号土坑(どこう)出土東釧路IV式土器



(2) 道指定文化財

① 道指定有形文化財（建造物）

「上ノ國八幡宮本殿」（かみのくにはちまングうほんでん）

【指定日】平成 29 年 3 月 31 日

【所在地】檜山郡上ノ国町字上ノ国 409

【員 数】1 棟

【年 代】元禄 12 年（1699）

【解 説】上ノ國八幡宮本殿は、北海道内に現存する神社建築としては最古の建造物とみられ、その建築年は元禄 12 年（1699）と推定されます。本殿の規模と形式は、一間社流造（いっけんしゃながれづくり：正面の柱間が 1 間）であり、屋根は緩やかな反りをつけ前面の向拝まで延びており、本殿妻面の梁、束、母屋等は洗練された意匠となっています。長く覆屋（おおいや）で保護されてきたことから、全体的に木部の風蝕（ふうしょく）が少なく保存状態も良好です。

以上のことから、上ノ國八幡宮本殿は江戸前期の形態をよくとどめ、北海道における神社本殿として歴史的価値の高い建造物です。

本殿正面



② 道指定文化財（考古資料）

「矢不來館跡出土品」（やふらいだてあとしゅつどひん）

【指定日】平成 29 年 3 月 31 日

【所在地】北斗市本町 1 丁目 1 番 1 号（北斗市郷土資料館）

【員 数】総数 122 点

NO.	種 別	員数	NO.	種 別	員数
1	陶磁器	36 点	5	石製品	2 点
2	鉄製品	2 点	6	ガラス製品	1 点
3	銅製品	14 点	7	漆製品	1 点
4	銭	66 点	計		122 点

【年 代】15 世紀後半～16 世紀初頭（中世後期）

【解 説】出土品は矢不來館跡出土の 15 世紀後半～16 世紀初頭（中世後期）の遺物です。内訳は天目碗、青磁、白磁、染付などの中国産陶磁器、瀬戸、越前などの国産陶磁器、鉄製品、銅製品、銭、石製品、漆器、ガラス玉等で、これらは、館の年代を示すとともに、当時の北海道南西部と本州の日本海沿岸各地との交易活動や、館主の生活や文化の実態を具体的に知ることができる資料であり、学術的に極めて価値が高い資料です。

【問合せ先】北斗市郷土資料館 電話：0138-77-8811（代表）

ホームページ：<http://iruka.g.dgdg.jp/bunpoken/siryoukan/kyoudokan.htm>



（北斗市教育委員会提供）

③ 道指定文化財（考古資料）

「青苗遺跡出土品」（あおなえいせきしゅつどひん）

【指定日】平成 29 年 3 月 31 日

【所在地】奥尻郡奥尻町字稲穂 162 番地（稲穂ふれあい研修センター）

【員 数】総数 119 点

名 称		点数	備 考
土 器		38	深鉢形土器、坏形土器、小形土器、壺形土器
骨 角 器	銚頭	17	鹿角製多い、海獣肋骨製あり、鉄鍬装着例あり
	銚頭未成品	7	鹿角製多い、海獣肋骨製あり
	中柄	19	鯨骨製多い、鹿角製、シカ中足骨製あり
	中柄未成品	23	鯨骨製多い、アシカ腓骨製、アホウドリ尺骨・橈骨製あり
	ヤス状刺突具	10	全点鯨骨製
	鳥骨製骨針	2	アホウドリ橈骨製
	有栓弭型鹿骨製品	3	鹿角製
	計	81	
合 計		119	

【時 代】11～12 世紀

【解 説】出土品は青苗遺跡に所在する擦文(さつもん)文化期の貝塚から出土した土器及び骨角器です。土器は器形・文様から 11～12 世紀頃のものと考えられ、当該地域の擦文土器の特徴をよく示すとともに、貝塚の時期を明確に示しています。骨角器には銚頭(もりがしら)、ヤス状刺突具(しとつぐ)などがあり、多くは交易の産品である毛皮を得ることを目的としたアシカ猟にかかわる製品です。擦文文化においては貝塚の存在は希少であり、まとまった骨角器の出土も他に例をみません。出土品は擦文文化の社会を考える上で欠くことのできない重要な資料であり、学術的価値が極めて高い資料です。

○土器



○骨角器



(奥尻町教育委員会提供)

【問合せ先】 奥尻町教育委員会 電話：01397-2-3890

ホームページ <http://www.town.okushiri.lg.jp/hotnews/detail/00001479.html>

④ 史跡〔追加指定・一部解除〕

「岩内東山円筒文化遺跡」 (いわないひがしやまえんとうぶんかいせき)

【所在地】 岩内郡岩内町字東山 14 番 1・15 番 (追加指定)、2 番 1 (解除)

【年代】 縄文文化前期～中期

【解説】 この史跡は昭和 43 年 3 月、縄文文化前期及び中期の「円筒文化」の遺跡の保護を目的に指定されましたが、近年、指定地域の周囲で建設事業に伴う埋蔵文化財調査がなされた結果、遺跡の主要な部分は指定地域より南東側にあることがほぼ明らかとなりました。

平成 26～28 年度に道立埋蔵文化財センターが指定地域及び隣接の土地で実施した「重要遺跡確認調査」の結果からも、史跡南側の隣接地に住居跡などを含む円筒文化の濃密な遺跡があることが確認されたことから、この地域を追加指定しました。

一方、従来の指定地域は遺跡の主要な部分の外にあることが確認され、史跡として土地の利用を制限することに十分な意義が認められないことから、指定を解除しました。

なお、当初の指定の根拠となった、昭和 31・32 年の町教育委員会によるこの遺跡の発掘調査 2 箇所のうち、1 箇所は今回の追加指定地域の中にあり (14 番 1)、もう 1 箇所は従来の指定地域から南東側に約 70m 離れた町道敷地上にあったことを確認しています。

【問合せ先】 岩内町教育委員会教育課 電話：0135-67-7099

ホームページ <http://www.town.iwanai.hokkaido.jp/>

○追加指定範囲



追加指定地域（15 番）の
遺物出土状況



追加指定地域の出土土器
（円筒土器下層式 d）

(3) 国登録文化財

国登録有形文化財（建造物）

① 「旧藤澤家住宅主屋」（きゅうふじさわけじゅうたくしゅおく）

【登録日】平成 28 年 7 月 15 日

【年代】昭和 9 年／昭和 53 年、平成 27 年改修

【所在地】函館市時任町 28 他

【解説】西面する木造一部 2 階建てで、中庭を囲むコの字形平面を持ち、北東には上質の 10 畳の座敷があり、正面外壁は彫子(ささらこ)付下見板張で切妻破風(きりつまはふ)付玄関になっています。和風意匠を基調とする建物で、昭和 9 年函館大火後に郊外に展開した新興住宅地に建つ住宅建築の好例となっています。



(函館市教育委員会提供)

【問合せ先】函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話：0138-21-3456

ホームページ：<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/rekisi/>

② 「函館YWCA会館」

【登 録 日】平成 28 年 7 月 15 日

【年 代】昭和 3 年頃／昭和 30 年改修

【所 在 地】函館市松陰町 6－2

【解 説】元は専用住宅として建てられたもので、木造一部 2 階建鋼板葺で非対称な外観を持ち、外壁は妻面上部に柱型や格子状の装飾を見せてアクセントとする他は下見板張となっています。正面玄関底は緩い照り起りの曲線となっており、昭和 9 年函館大火前後に建設された郊外住宅の趣きを示しています。



(函館市教育委員会提供)

【問合せ先】函館市教育委員会生涯学習部文化財課 電話:0138-21-3456

ホームページ:<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/rekisi/>

2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成 28 年度については、「推進本部」として目標としていた平成 28 年度のユネスコへの推薦は、見送られることとなりましたが、縄文遺跡群世界遺産登録推進議員連盟及び縄文遺跡群世界遺産登録推進本部が、平成 28 年 4 月 26 日及び平成 28 年 11 月 1 日に文部科学大臣並びに文化庁長官に対し要望活動を行うなど、登録の推進に向け精力的な活動を行いました。

（１） 世界遺産登録に向けた体制と事業について

「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月に文化庁へ提出しましたが、同年 8 月の文化審議会の特別委員会において、推薦を得ることはできませんでした。

その後、文化審議会から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、課題を整理した「世界遺産登録推薦書素案」を平成 29 年 3 月に文化庁へ提出しています。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があり、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 28 年度には推進会議を 2 回、専門家委員会を 1 回開催し、協議を進めました。

また、平成 28 年 11 月に旭川市(北海道)、平成 29 年 1 月に東京で「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、多くの方に参加いた

だき、人類史における縄文遺跡群の価値、北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴などをテーマに講演・説明を行いました。

◆縄文世界遺産登録推進フォーラム「縄文世界遺産と地域の活性化」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2016forum.htm>

○世界遺産登録推進フォーラム旭川会場



(2) 4道県共通ホームページの作成について

平成25年8月30日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、4道県共通ホームページを開設しました。

また、平成26年3月31日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」を開設しています。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMON ぐるぐる」

ホームページ：<http://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成14年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成16年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の3県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成24年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っています。

7月に「縄文夏まつり～北の縄文応援団1万人集合!!～」を札幌駅前通地下歩行空間で、2月に北海道庁赤レンガ庁舎で「2017 縄文雪まつり～JOMON SNOW FESTIVAL～」を開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますので、御参照ください。

○縄文夏まつり会場



○縄文雪まつり会場



◆「縄文夏まつり～北の縄文応援団1万人集合!!～」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/28natumaturi.htm>

◆「2017 縄文雪まつり～JOMON SNOW FESTIVAL～」

ホームページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/2017yukimatsuri.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内の「暫定一覧表記載資産の追加について」などを御覧ください。

ホームページ：http://bunka.nii.ac.jp/special_content/hlink14

3 北海道文化財保護強調月間について

平成 20 年度に、北海道教育委員会、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会及び北海道博物館協会の 6 者は共同で、毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、「北海道文化財保護強調月間」として設定しました。

期間中には、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施しています。

平成 28 年度は、第 9 回目として、95 市町村で展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベント 299 事業が実施されました。

なお、第 9 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、道内の指定文化財の写真を掲載し、文化財の保護と活用の啓発に努めました。

今後も、市町村教育委員会等の協力を得ながら、様々な形で、児童・生徒の皆さん、そして、広く道民の方々が文化財を身近に感じ、親しんでいただく機会の提供に取り組めます。

・文化財保護強調月間ホームページ

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち 6 団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年 10 月 8 日から 11 月 7 日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

○北海道文化財保護強調月間ポスター



○まりも祭りセミナー(釧路市)



4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査事業

アイヌ民俗文化財に係る調査等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配付し、活用を図りました。

[金成マツノート整理・翻訳、刊行]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

・ユーカラシリーズ 55

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「ぴたりと引ついた城」』

萱野志朗 訳

・ユーカラシリーズ 56

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「ユーカラ：太鼓を持つ女」』

切替英雄、高橋靖以 訳

・ユーカラシリーズ 57

『金成マツ筆録アイヌ叙事詩「メノコユーカラ：ノミの津波シラミの津波-沖の国ボンレブびとと婚約させられた」』

蓮池悦子 訳

[平成28年度アイヌ民俗文化財調査報告書]

アイヌの人たちが祖先から伝承してきた生活や生産生業に関する民俗技術について、テーマを設定して調査を実施し、報告書を刊行しました。

・産育に関する民俗技術 藤村久和、花輪陽平 著

(2) アイヌ民俗文化財伝承・活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

また、専門職員等を対象に研修会を開催しました。

① アイヌ民俗技術伝承講座：道内5会場

(延べ58講座、延べ参加人員602人)

② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内5会場

(延べ38講座、延べ参加人員403人)

③ アイヌ文化財専門職員等研修会

(会場：札幌、参加人員：65人)



アイヌ古式舞踊練習風景

5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保存整備等を図るため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

● 建造物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (建造物)	旧旭川偕行社	旧旭川偕行社は、明治35年(1902)に旭川に陸軍第七師団が設営された際に、将校たちの社交場として建設され、現在は旭川市彫刻美術館として保存、再利用されている建造物です。 平成24年度から平成28年度まで保存修理工事を実施し、最終年度の28年度は屋根工事や、壁面の亀裂や漆喰工事等、全体的な修理工事を行いました。	旭 川 市
重要文化財 (建造物)	旧函館区公会堂	旧函館区公会堂は明治39年(1906)に集会所等として工事費の大半を豪商相馬哲平の寄付により建てられました。2階のバルコニーからの絶景と和と洋が融合した優れた意匠で観光客に人気が高い建造物です。平成28年度は建物の構造調査、耐震診断書を経て保存活用計画などの耐震補強工事に向けた準備を進めました。	函 館 市
重要文化財 (建造物)	北海道庁 旧本庁舎	明治21年(1888)竣工の煉瓦造地上二階地下一階建の官庁建築物であり、我が国における大規模な煉瓦造建造物の初期遺構です。平成28年度は、建物の構造調査、耐震診断書の作成などの耐震診断業務や今後さらに有効に活用していくため、保存活用計画の策定を実施しました。	北 海 道
重要文化財 (建造物)	旧下ヨイチ 運上家	旧下ヨイチ運上家は嘉永6年(1853)に建てられたもので、現存する唯一の運上家であり、幕藩体制下の蝦夷地経営を知るうえで貴重な遺構です。平成28年度は、建物の構造体調査、地盤調査、構造診断などの耐震診断業務を実施しました。	余市町

○重要文化財「旧旭川偕行社」（旭川市）



○重要文化財「旧函館区公会堂」（函館市）



○重要文化財「旧北海道庁旧本庁舎」（札幌市）



○重要文化財「旧下ヨイチ運上家」（余市町）



写真提供：余市町教育委員会

● 美術工芸品

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要文化財 (考古資料)	北海道上之國 勝山館跡出土品	北海道上之國勝山館跡出土品は、15～16 世紀（室町時代～安土・桃山時代）の城館跡から出土した、木製品、漆器、金属製品、骨角製品、繊維製品などからなる貴重な考古資料です。 平成 26 年度から 30 年度の 5 年間の計画で、破損物の保存修理事業及び公開・保存を目的とした、保存台及び保存箱の製作を行っています。	上ノ国町
重要文化財 (考古資料)	北海道船泊遺跡 出 土 品	縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地、及び作業場跡等から出土した副葬品で、とりわけ貝製品には、房総半島以南のタカラ貝など、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれ、当時の広域な物資交易をよく示す、貴重な資料となっています。 平成 26 年度から 30 年度の 5 年間の計画で、破損物の保存修理事業を行っています。	礼 文 町
重要文化財 (歴史資料)	開 拓 使 文 書	開拓使文書は、開拓使札幌本庁、その前身の箱館府等において、作成、収受、編綴された近代行政文書であり、明治政府による北海道の近代化の諸政策を知る上での貴重な資料です。 平成 27 年度から 35 年度の 9 年間の計画で、破損した原本の保存修理事業を行っています。	北 海 道

○重要文化財「北海道上之國勝山館跡出土品」（上ノ国町）



○重要文化財「北海道船泊遺跡出土品」(礼文町)



貝平玉

○重要文化財「開拓使文書」(北海道)



(2) 重要伝統的建造物群保存地区・重要文化的景観

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ち並び、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。 平成 28 年度は、金森倉庫 5 号主屋修理事業など 7 件の修理事業を実施しました。	函館市

重要文化的 景観	アイヌの伝統と 近代開拓による 沙流川流域の文 化的景観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 平成 28 年度は、2 次選定に向け意識の高揚を目的とした普及啓発事業を行いました。	平 取 町
-------------	---------------------------------------	---	-------

○函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区（函館市）



○沙流川流域の文化的景観（平取町）

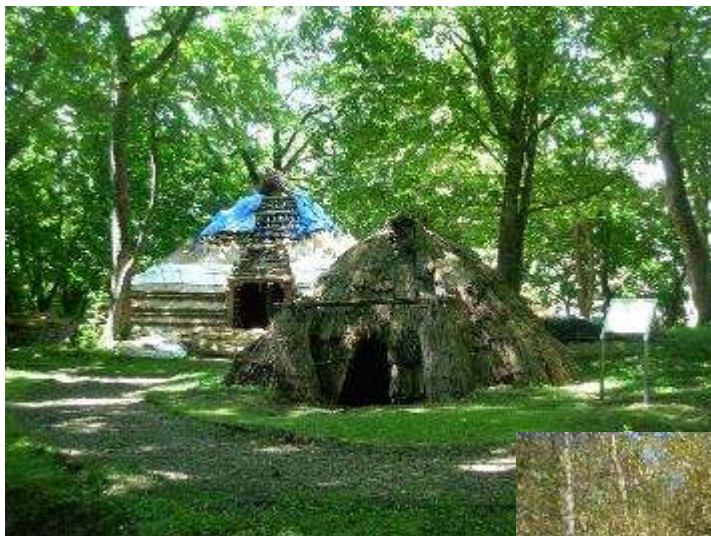


(3) 史跡・名勝・天然記念物

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
特 別 史 跡	五 稜 郭 跡	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。 平成 28 年度は、崩落の可能性のある石垣の定点調査を実施しました。	函 館 市
史 跡	松 前 氏 城 跡 福 山 城 跡 館 城 跡 の うち 福 山 城 跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。 平成 28 年度は保存活用計画を策定しました。また、今後の整備に向けて二ノ丸地区の発掘調査も実施しました。	松 前 町
史 跡	旧 奥 行 臼 駅 通 所	旧奥行臼駅通所は明治 43 年から昭和 5 年までの間、人馬の継ぎ立てと宿泊、物資の通送等の便宜を図った施設で、主屋 1 棟、馬屋 2 棟、倉庫 1 棟が現存しています。 平成 28 年度は、3 年計画の建物修理に着手しました。	別 海 町
史 跡	入 江 ・ 高 砂 貝 塚	入江・高砂貝塚は噴火湾を望む台地上に隣接して位置し、周辺の自然環境や当時の生業、縄文人の形質や葬法などを知る上で重要な貝塚です。 平成 28 年度は、園路整備、植栽、川の復元工事等を実施しました。	洞 爺 湖 町
史 跡	常 呂 遺 跡	常呂遺跡は、オホーツク海沿岸地域の常呂川河口付近からサロマ湖東岸に及ぶ 1,283,779 m²の広大な遺跡で、地表に窪みとして残る竪穴住居跡は 2,700 ヶ所を超え、独特の景観を作り出しています。 平成 28 年度は、竪穴住居 1 軒を復元しました。また、整備に向けた計画を策定するとともに、広報資料を作成し、講演会を開催しました。	北 見 市

史 跡	カ リ ン バ 遺 跡	カリンバ遺跡は、縄文時代の大きな大規模な墓地で、漆製品等の豊富な副葬品が出土しています。 平成 28 年度は今後の整備に備え、史跡周辺の詳しい地形測量を実施しました。	恵 庭 市
史 跡	ピ リ カ 遺 跡	ピリカ遺跡は、旧石器時代の代表的な遺跡で、出土した石器の変遷をたどることができ、焚火跡や石器製作跡の生活痕跡も良好に残っていました。 平成 28 年度はガイダンス施設、史跡へ向かう階段・手すり、案内板等を修理しました。	今 金 町
史 跡	白老仙台藩陣屋跡	白老仙台藩陣屋跡は、幕府の命により仙台藩が安政 3 年（1856）に築いた陣屋で慶応 4 年（1868）までの 12 年間、東蝦夷地を守備範囲として、100 名以上の藩士達が駐屯していました。 平成 28 年度は老朽化した橋 2 つを改修しました。	白 老 町
歴史の道	様 似 山 道	様似山道は、幕末のロシアの南下政策に対する幕府の北方警備強化を目的とした海岸線の迂回路として、寛政 11 年（1799）に江戸幕府が整備した山道です。 平成 28 年度は、山道の測量調査、途中にある原田宿の発掘調査を実施するとともに、様似山道セミナーを開催しました。	様 似 町
歴史の道	猿 留 山 道	猿留山道は様似山道とともに、寛政 11 年（1799）に最上徳内・中村小市郎らにより開削された山道です。 平成 28 年度は、崩れていた山道の修理を実施するとともに、山道学習会を開催しました。	え り も 町

史 跡 天然記念物	標 津 遺 跡 群 標 津 湿 原	史跡標津遺跡群・天然記念物標津湿原は遺跡と周囲自然環境を一体的に指定しています。標津遺跡群伊茶仁カリカリウス遺跡は、2,549 ヶ所の竪穴住居跡の窪みが地表面で確認でき、一万年に渡る人の営みが継続した結果残された遺跡です。天然記念物標津湿原は、ミズゴケを中心とする良好な高層湿原で多くの貴重な植物、昆虫 800 種以上、淡水魚等が生息しています。 平成 28 年度は屋外トイレ再整備、木橋再整備のほか、侵入カラマツ稚樹伐採やササ刈取り等の湿原環境整備を実施しました。	標 津 町
名 勝	ピリカノカ 幌尻岳（ポロシリ）、 オキクルミのチャシ 及びムイノカ	ピリカノカはアイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群の総称です。平取町内では 2 カ所が指定されています。 平成 28 年度は名勝を望む場所を整備し、案内版を設置した他、学習資料を作成しました。	平 取 町
特 別 天 然 記 念 物	阿寒湖のマリモ	世界でここにしか残されていない大規模なマリモの群集ですが、藻が多くなり生息環境の悪化が心配されています。 平成 28 年度はマリモ育成のための各種調査を実施するとともに、周辺水域を含む湖内 4 カ所で水草の種構成を調べました。	釧 路 市
特 別 天 然 記 念 物	アポイ岳高山植物 群落	アポイ岳は、日高山脈の南端付近の西海岸寄りに位置し、かんらん岩という特殊な土壌条件や、海霧や強風の影響等により、数多くの高山植物が生育しています。 平成 28 年度は、高山植物植生の回復を目指し、各種モニタリング調査、空中写真によるアポイ岳周辺の植生変化調査等を実施しました。	様 似 町



○北見市史跡常呂遺跡
復元した竪穴住居

○今金町史跡ピリカ遺跡
史跡へ向かう階段



○白老町史跡白老仙台藩陣屋跡
橋の架け替え

○様似町特別天然記念物アポ
イ岳高山植物群落
高山植物保護のためのハイ
マツ伐採試験



6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議を行ない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できる限りその取り扱いに関する調整を行なっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような工事から埋蔵文化財を保護するため、8,738.185ha について所在調査を、127.366ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）



⑤ 試掘調査（市町村・北海道教育委員会実施）



→
重機・スコップなどで地面を掘ってみます。掘った土の中に土器・石器等があるか調べます。



↓
昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。（出土した土器 約 2000 年前のもの）
（中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡）

↓ → 遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
（北海道教育委員会など）

- （１）現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- （２）発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- （３）工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- （４）慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。

↓
⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事 業 者
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	開発行為が予想される4件の所在調査と22件の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。	札 幌 市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	史跡キウス周堤墓群周辺の状況を把握するため、指定地北側を流れる小河川の両岸で保存目的の試掘調査を実施しました。調査の結果、全域に縄文後期中葉～後葉の遺構や遺物が分布し、6号周堤墓の南側に位置する竪穴遺構は大型竪穴住居跡または周堤墓の可能性のあることが明らかになりました。	千 歳 市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	苫東柏原地区の3か所で試掘調査を実施しましたが、新たな遺跡は確認されませんでした。また、植苗地区での試掘調査により、勇振4遺跡を新たに発見し、勇振2遺跡の推定範囲を変更しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市 内 遺 跡	史跡垣ノ島遺跡の主要な遺構である盛土遺構について裾の部分で調査を実施し、長さ190m、幅120mを超える大規模な遺構であることを確認しました。また、後世の土地利用状況や旧地形の復元など、整備に向けて多くの情報が得られました。	函 館 市
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	町内で計画されている各種の開発行為に先立って所在調査57件、試掘調査5件を実施し、縄文時代の遺跡1か所が新たに発見されました。	美 幌 町
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	チャシコツ岬上遺跡の竪穴住居跡群のうち、自然崩壊のおそれがある貼付文期の竪穴住居跡1軒の発掘調査を完了し、骨塚3か所が確認されました。また、貼付文期の廃棄層から動物骨等にまじって、皇朝十二銭の一つである神功開宝(765年初鑄)1枚が出土しました。	斜 里 町
埋蔵文化財	町 内 遺 跡	史跡鷺ノ木遺跡の環状列石から北へ約50mの台地端部に位置する窪地の調査を行い、土器・石器等が出土しました。また、平成19年度に一部が発見されていた竪穴墓域2号の内容確認調査を行いました。性格の判断には至りませんでした。	森 町

埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習会や土器・石器・勾玉・縄文クッキー作り、北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産をテーマにした公開講座、市内や近郊の遺跡を紹介する企画展を実施しました。また、市指定史跡美々貝塚解説パンフレットや市内遺跡地図を作成しました。	千 歳 市
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	史跡北黄金貝塚や縄文文化を紹介する講座・展示会・シンポジウム・セミナーやイベント等を開催し、市内の遺跡を紹介するハンドブック等の広報資料を作成しました。また、伊達市噴火湾文化研究所内を改修し、出土品を整理するための整理作業室の工事を行いました。	伊 達 市
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	鷺ノ木遺跡及び縄文文化をテーマに森町遺跡発掘調査事務所で展示会や講演会を開催しました。また、鷺ノ木遺跡のパンフレット、森町の縄文文化に関する冊子・小冊子、グッズ等を作成しました。	森 町
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり・勾玉づくり等の体験学習会や講演会、企画展示「寄贈資料速報展」を開催し、出前体験教室や黒曜石の露頭のある赤石山の見学会を実施しました。	遠 軽 町
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	市内に所在する代表的な4遺跡の案内看板や、市内遺跡を案内するマップを製作しました。また、市内遺跡の概要や特徴に関する市民講座を開講しました。	稚 内 市
埋蔵文化財	地 域 の 特 色 ある 埋 蔵 文 化 財 活 用	上ノ国市街地遺跡の出土遺物を対象に、器種分類・集計作業、遺物台帳の作成等の再整理を行いました。また、再整理した出土品の展示会を実施しました。	上ノ国町



○千歳市キウス13遺跡 発掘調査の様子
（「盛り土遺構」の調査を行っています）



○ 函館市 史跡垣ノ島遺跡
盛り土上面の検出状況



○ 斜里町チャシコツ岬上遺跡（南西から）と同遺跡の廃棄層から出土した神功開宝

8 発掘調査

平成 28 年度は北海道内で 65 件、62,751 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調 査 主 体	件数	調査面積
市町村教育委員会	30	21,319 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	20	37,604 m ²
大学・博物館等	15	3,829 m ²

また、平成 28 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、御覧ください。

URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h28gaiyou.htm>



○ 函館市
日吉町 A 遺跡
竪穴住居跡

Ⅱ 資料編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分	種 別	地域を定めない	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			15	3	3	1	14	5	1	2	2	3	1	2	1	5	58
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1														1
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	7	6	1	10	2		1		4	2	5	4		51
	名勝(*1)							1		1			1					3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
	小計	15	3	28	12	11	6	30	9	5	6	2	9	4	13	8	5	166
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		25	27	14	6	3	21	1	16		3	9	7	1	8		141
	記念物							1										1
	小計	0	25	27	14	6	3	22	1	16	0	3	9	7	1	8	0	142
道指定	有形文化財		4	8	5	5	2	33	9	1	2	3	4	4	2	3		85
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							2	5									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
	小計	0	10	10	8	8	5	42	19	4	2	10	15	15	4	7	0	159
合 計		15	38	65	34	25	15	95	29	25	8	15	33	26	18	23	5	469

※ 複数管内に所在が跨(また)がる物件については、主たる所在地がある管内にカウントしている。

(2) 国指定・選定文化財一覧

国指定・選定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定又は選定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19.6.8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8.1.23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建 造 物	札幌市	S11.9.18
3	福山城（松前城）本丸御門	建 造 物	松前町	S16.5.8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25.8.29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31.6.28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）※東京国立博物館保管	考古資料	室蘭市	S37.6.21
7	豊平館	建 造 物	札幌市	S39.5.26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42.6.15
9	北海道庁旧本庁舎	建 造 物	札幌市	S44.3.12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建 造 物	小樽市	S44.3.12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建 造 物	札幌市	S44.8.19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建 造 物	札幌市	S45.6.17
13	旧三戸部家住宅	建 造 物	伊達市	S46.12.28
14	旧花田家番屋	建 造 物	小平町	S46.12.28
15	旧下ヨイチ運上家	建 造 物	余市町	S46.12.28
16	旧中村家住宅	建 造 物	江差町	S46.12.28
17	太刀川家住宅店舗	建 造 物	函館市	S46.12.28
18	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土） ※東京国立博物館保管	考古資料	北斗市	S48.6.6
19	旧函館区公会堂	建 造 物	函館市	S49.5.21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54.6.6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建 造 物	函館市	S58.6.2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土） ※国保有物件	考古資料	千歳市	S63.6.6
23	旧旭川偕行社	建 造 物	旭川市	H1.5.19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建 造 物	札幌市	H1.5.19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3.6.21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3.6.21
27	龍雲院	建 造 物	松前町	H4.1.21
28	旧笹浪家住宅	建 造 物	上ノ国町	H4.1.21

29	正行寺本堂	建 造 物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建 造 物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建 造 物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別 1 遺跡土壙墓出土品 ※国保有物件	考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建 造 物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建 造 物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	考古資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建 造 物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モシリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品 ※国保有物件	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市	H16. 6. 8
43	北海道美々 8 遺跡出土品	考古資料	江別市	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澍院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建 造 物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館跡出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡群出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	北海道船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建 造 物	札幌市	H25. 8. 7
54	開拓使文書	歴史資料	札幌市	H26. 8. 21
55	北海道松法川北岸遺跡出土品	考古資料	羅臼町	H27. 9. 4
56	旧網走監獄	建 造 物	網走市	H28. 2. 9
57	旧網走刑務所二見ヶ岡刑務支所（二見ヶ岡農場）	建 造 物	網走市	H28. 2. 9
58	北海道豊原 4 遺跡土坑出土品	考古資料	函館市	H28. 8. 17

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシヤマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡 松前氏城跡 福山城跡(追加指定) 館城跡(追加指定) 松前氏城跡 福山城跡(追加指定)	松前町 厚沢部町 松前町 厚沢部町 松前町	S10. 6. 7 H14. 9. 20 H25. 10. 17 H25. 10. 17 H27. 3. 10
—	モシリヤ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
—	鶴ヶ岱チャランケ砦跡 (H. 27. 3. 17 釧路川流域チャシ跡群に統合)	釧路市	
6	春採台地堅穴群	釧路市	S10. 12. 24
7	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
8	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16

9	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
10	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
11	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
12	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
13	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
14	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
15	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
17	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
18	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
19	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
20	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
21	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
22	大館跡	松前町	S52. 4. 5
23	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
24	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
25	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
26	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
27	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
28	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
29	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
30	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
31	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
32	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
33	旧島松駅逦所	北広島市	S59. 7. 25
34	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
35	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
36	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17
37	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63. 5. 13 H23. 9. 21
38	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
39	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
40	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26

41	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9.3.11
42	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか町・ 日高町	H9.12.2
43	江別古墳群	江別市	H10.9.11
44	大谷地貝塚	余市町	H12.11.20
45	大船遺跡	函館市	H13.8.13
46	カリンバ遺跡	恵庭市	H17.3.2
47	鷺ノ木遺跡 鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町 森町	H18.1.26 H24.9.19
48	垣ノ島遺跡	函館市	H23.2.7
49	旧奥行臼駅通所	別海町	H23.9.21
50	釧路川流域チャシ跡群 (※モシリヤ砦跡、鶴ヶ岱チャランケ砦跡を統合するとともに周辺9 チャシを追加)	釧路市・釧路町・ 弟子屈町・標茶町	H27.3.17
51	旧歌棄佐藤家漁場	寿都町	H28.3.1

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13.12.14
2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13.8.13
3	ピッカノカ 九度山（クトゥンヌプリ） 黄金山（ピンネタイオルシペ） 神威岬（カムイエトゥ） 襟裳岬（オンネエンルム） 瞰望岩（インカルシ） カムイチャシ 絵鞆半島外海岸 十勝幌尻岳（ボロシリ） 幌尻岳（ボロシリ） オキクルミのチャシ及びムイノカ	名寄市 石狩市 枝幸町・浜頓別町 えりも町 遠軽町 豊浦町 室蘭市 帯広市・中札内村 新冠町・平取町 平取町	H21.7.23 H21.7.23 H22.2.22 H22.8.5 H23.2.7 H23.2.7 H24.1.24 H24.9.19 H25.10.17 H26.3.18

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27.3.29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27.3.29
3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27.3.29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32.6.19
5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52.3.15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27.3.29

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10.3.3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10.3.3
3	藻岩原始林	植 物	札幌市	T10.3.3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11.10.12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11.10.12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13.12.9
7	鶺鴒川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S3.2.7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3.3.24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3.10.22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12.12.21
11	北海道犬	動 物	—	S12.12.21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13.8.8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14.9.7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14.9.7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14.9.7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15.2.10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18.8.24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26.6.9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26.6.9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40.5.12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40.5.12
22	アサヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40.5.12
23	クマゲラ	動 物	主な生息地北海道	S40.5.12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40.5.12
25	カラフトルリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42.5.2
26	釧路湿原	天然保護 区域	標茶町・鶴居村・ 釧路町	S42.7.6
27	オジロワシ	動 物	主な生息地北海道・ 新潟県	S45.1.23
28	オオワシ	動 物	主な生息地北海道・ 石川県・福井県	S45.1.23
29	沙流川源流原始林	天然保護 区域	日高町	S45.12.4
30	エゾシマフクロウ	動 物	主な生息地北海道	S46.5.19
31	コクガン	動 物	主な生息地北海道・ 青森県・秋田県	S46.5.19

32	ヒシクイ	動 物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン	動 物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落	植 物	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島	天然保護区域	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ	動 物	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原	天然保護区域	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林	植 物	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	植物・地質鉱物	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質鉱物	足寄町	H12. 9. 6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1. 4. 21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 16

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

（３）道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	建 造 物	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	彫 刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫 刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵 画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建 造 物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建 造 物	松前町	S38. 7. 26

8	旧函館博物館一号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建 造 物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	建 造 物	森 町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建 造 物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建 造 物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵 画	函館市	S43. 3. 29
22	楳法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建 造 物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工 芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古 文 書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	建 造 物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建 造 物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	建 造 物	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	建 造 物	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	彫 刻	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	彫 刻	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	彫 刻	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	彫 刻	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	絵 画	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	建 造 物	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K－446遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55. 8. 12

45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	建 造 物	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	工 芸	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	建 造 物	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	彫 刻	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建 造 物	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建 造 物	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	建 造 物	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	彫 刻	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	彫 刻	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	彫 刻	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建 造 物	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	彫 刻	小樽市	H 6. 2. 9
63	奥行臼駅逕	建 造 物	別海町	H 6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	絵 画	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	古 文 書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	彫 刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市（北海道立図書館）	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周堤墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31
79	北海道家庭学校礼拝堂	建 造 物	遠軽町	H27. 3. 31
80	屯田兵絵物語 附 屯田絵巻	歴史資料	旭川市	H28. 3. 31

81	滝川屯田兵文書(第二大隊第三中隊・第四中隊文書)	歴史資料	滝川市	H28. 3. 31
82	新琴似村屯田兵村記録	歴史資料	札幌市	H28. 3. 31
83	上ノ国八幡宮本殿	建 造 物	上ノ国町	H29. 3. 31
84	矢不來館跡出土品	考古資料	北斗市	H29. 3. 31
85	青苗遺跡出土品	考古資料	奥尻町	H29. 3. 31

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鯨様(妙亀・法鯨大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鯨様(龍神・妙亀菩薩・鯨神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町 福島町 函館市 小樽市	H20. 6. 9

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家噴墓群	日高町	S38. 12. 24

9	オムサロ台地堅穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー堅穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔堅穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩岩跡及び堅穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ 堅穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円堅穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡 岩内東山円筒文化遺跡（追加指定、一部解除）	岩内町 岩内町	S43. 3. 29 H29. 3. 31
21	興部豊野堅穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアクセシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24

12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護 区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	動 物	鹿追町・ 上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシユンコシユン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギュウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H 6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝甌穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財		無 形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天 然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計	
	建造物			美 術 工芸品	有形						無形
	件数	(棟数)									
空知	16	(17)	37	3	4	16	11	0	9	0	96
石狩	9	(9)	27	2	3	3	5	0	4	0	53
後志	10	(10)	28	1	0	11	26	2	10	0	88
胆振	8	(8)	43	0	11	14	25	0	13	0	114
日高	1	(1)	18	5	0	0	2	1	1	0	28
渡島	2	(2)	117	0	18	15	9	4	8	1	174
桧山	8	(11)	48	0	10	14	4	1	1	0	86
上川	15	(16)	19	3	0	10	16	0	19	0	82
留萌	4	(4)	8	0	3	8	42	0	1	0	66
宗谷	15	(15)	13	0	0	3	14	0	7	0	52
オホーツク	8	(8)	12	0	4	1	7	0	7	0	39
十勝	3	(3)	37	2	1	8	7	0	16	0	74
釧路	3	(3)	14	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	3	(7)	16	0	1	2	6	0	20	0	48
合計	105	(114)	437	17	55	108	180	8	130	1	1, 041

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H29shichousonbunkazai.pdf>

・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)若しくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	27	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	3	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	21	1
桧山	1	0
上川	16	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
オホーツク	9	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	141	1

(6) 登録文化財一覧

〔登録有形文化財(建造物)〕

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館パチェラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28

35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	J R 小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
63	J R 小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
64	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
65	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
66	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
67	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
68	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18

72	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
73	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
74	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
75	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
84	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
85	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
86	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
87	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
88	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
89	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市	H20. 3. 7
90	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市	H20. 3. 7
91	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
92	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
93	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
94	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
95	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
96	中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
97	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
98	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
99	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
100	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
101	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
102	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
103	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
104	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
105	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10
106	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
107	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
108	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23

109	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
110	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
111	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
117	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
118	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
119	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
120	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
121	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
122	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
123	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
124	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
125	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
126	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
127	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
128	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21
129	遠藤家住宅主屋	札幌市	H26. 10. 7
130	遠藤家住宅蔵	札幌市	H26. 10. 7
131	遠藤家住宅南石蔵	札幌市	H26. 10. 7
132	遠藤家住宅北石蔵	札幌市	H26. 10. 7
133	遠藤家住宅表門	札幌市	H26. 10. 7
134	遠藤家住宅塀	札幌市	H26. 10. 7
135	飯田家住宅座敷棟	日高町	H26. 12. 19
136	旭川市市民活動交流センター市民活動支援棟（旧国鉄旭川車両センター木機乾燥場）	旭川市	H27. 11. 17
137	旭川市市民活動交流センターホール棟（旧国鉄旭川車両センター第二木機職場）	旭川市	H27. 11. 17
138	北海道護国神社平成館（旧陸軍第七師団北鎮兵事記念館）	旭川市	H27. 11. 17
139	飯田家住宅主屋	日高町	H27. 11. 17
140	旧藤澤家住宅主屋	函館市	H28. 11. 29
141	函館YWC A会館	函館市	H28. 11. 29

〔登録記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj. pref. hokkaido. lg. jp/hk/bnh/bun-hogo-rokuitiran. htm>

(7) 平成 28 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

〔公開〕

市町村名	区 分	事業名又は対象の文化財
夕張市	公 開	採炭救国坑夫の像
夕張市	公 開	＜道指定天然記念物・国登録有形文化財＞夕張の石炭大露头
夕張市	公 開	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口
夕張市	公 開	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口
夕張市	公 開	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋
夕張市	公 開	登川神社木彫掲額
夕張市	公 開	東郷平八郎直筆の書
夕張市	公 開	櫓の大盃
美唄市	公 開	＜道指定有形文化財＞ 美唄屯田兵屋の公開
美唄市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開
美唄市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 旧桜井邸住宅の公開
美唄市	展覧会・展示会	＜市指定有形文化財＞ 光珠内いん石の公開
滝川市	展覧会・展示会	＜道指定天然記念物＞タキカワカイギュウ化石標本
滝川市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 屯田兵屋
滝川市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 牧羊用石造サイロ
滝川市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 太郎吉蔵(旧五十嵐酒造店倉庫)
深川市	公 開	＜市指定有形文化財＞「屯田兵屋」見学
深川市	展覧会・展示会	＜市指定無形文化財＞ 猩々獅子五段くずし、多度志獅子舞、納内町猩々獅子舞 DVD 鑑賞
深川市	展覧会・展示会	縄文土器展示
深川市	展覧会・展示会	フカガワクジラ・タカハシホタテ化石展示
南幌町	公 開	＜国登録有形文化財＞ 旧幌向駅通所の公開
栗山町	公 開	＜国登録有形文化財＞ 小林家公開
栗山町	展覧会・展示会	＜町指定有形文化財＞ 「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫りの鮭の公開
栗山町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 泉記念館の公開
栗山町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 泉麟太郎君記念碑の公開
栗山町	展覧会・展示会	＜町指定有形文化財＞ 続縄文時代鳩山 2 遺跡「深鉢形土器」の公開
新十津川町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 絵馬(玉置神社奉祀之景)

秩父別町	公 開	<町指定有形文化財> 有形文化財 屯田の鐘
沼田町	公 開	<道指定有形文化財> 本願寺駅通見学会
沼田町	公 開	<道指定有形文化財> 本願寺駅通
札幌市	公 開	<国指定重要文化財> 旧札幌農学校演武場(時計台)の公開
札幌市	公 開	<国指定重要文化財> 豊平館の公開
札幌市	公 開	<国指定重要文化財> 八窓庵(旧舎那院忘筌)の公開
札幌市	公 開	<国指定史跡> 琴似屯田兵村兵屋跡の公開
札幌市	公 開	<市指定有形文化財> 清華亭の公開
札幌市	公 開	<市指定有形文化財> 旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)の公開
札幌市	公 開	<市指定有形文化財> 新琴似屯田兵中隊本部の公開
札幌市	公 開	<市指定有形文化財及び史跡> 札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡の公開
札幌市	公 開	<市指定史跡> 手稲山口バッタ塚の公開
札幌市	展覧会・展示会	<市指定有形文化財> 旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図の公開及び埋蔵文化財の公開
札幌市	展覧会・展示会	丘珠縄文遺跡の最新調査成果展
札幌市	公 開	<国登録有形文化財> 札幌市資料館(旧札幌控訴院)の公開
札幌市	公 開	<国登録有形文化財> エドウィン・ダン記念館(旧北海道庁真駒内種畜場事務所)の公開
札幌市	公 開	<国登録有形文化財> 旧西岡水源池取水塔の公開
札幌市	公 開	重要文化財札幌農学校第2農場のガイド付きショートツアー
札幌市	公 開	札幌農学校第2農場の公開
札幌市	公 開	博物館(本館・便所・倉庫・事務所・鳥舎), 宮部金吾記念館・バチェラー記念館の公開
札幌市	公 開	森林記念館(旧標本貯蔵室)の公開
札幌市	展覧会・展示会	北海道博物館 第6回企画テーマ展 きれい?不思議?楽しい!?漂着物 ―北の海辺でお宝みつけ!―
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示1 19世紀のアイヌの衣文化 ―『蝦夷島奇観』と北海道神宮資料から―
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示2 明治時代の日本画家・木戸竹石が描いたアイヌ
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示4 千島アイヌの近現代史
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示5 模型でめぐる北海道の建物
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示6 たくぎん(北海道拓殖銀行)
札幌市	展覧会・展示会	クローズアップ展示7 歩く宝石”北海道のオサムシ”
江別市	公 開	常設展示(国指定重要文化財、道指定有形文化財、市指定有形文化財含む)
江別市	公 開	道指定有形文化財の公開
江別市	展覧会・展示会	掘り出された北の歴史
千歳市	展覧会・展示会	常設展示
千歳市	展覧会・展示会	平成28年度企画展「世界遺産登録をめざす北海道遺跡群」

恵庭市	展覧会・展示会	常設展示
恵庭市	展覧会・展示会	「特別公開 2016 国指定重要文化財カリンバ遺跡出土品」展
恵庭市	展覧会・展示会	市内遺跡ミニ展示
北広島市	展覧会・展示会	常設展示
北広島市	展覧会・展示会	企画展示 祝いと記念の品
石狩市	公 開	＜国指定史跡＞ 荘内藩ハママシケ陣屋跡
石狩市	展覧会・展示会	はまます郷土資料館 常設展示（＜市指定有形文化財＞旧白鳥家番屋）
石狩市	展覧会・展示会	いしかり砂丘の風資料館
石狩市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 旧長野商店
石狩市	展覧会・展示会	テーマ展 「石狩紅葉山 49 号遺跡の舟と櫓」
石狩市	展覧会・展示会	体験講座 「縄文の川と暮らしをジオラマで作ろう」
石狩市	展覧会・展示会	講演会 「縄文の暮らしと石器―石狩紅葉山 49 号遺跡出土の石器使用痕分析からわかること―」
当別町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 伊達家別邸
当別町	展覧会・展示会	＜町指定有形文化財＞ 伊達家関連資料
当別町	展覧会・展示会	＜町指定無形文化財＞ 当別音頭の披露
寿都町	展覧会・展示会	寿都町総合文化センター 文化財展示室公開
岩内町	公 開	＜道指定有形文化財＞岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物展示
積丹町	展覧会・展示会	第 46 回積丹町文化祭 展示の部
余市町	展覧会・展示会	余市水産博物館特別展「カメラがとらえた昭和の余市」
室蘭市	公 開	＜市指定有形文化財＞輪西屯田兵関係資料、仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾及び友情人形の公開
室蘭市	公 開	＜市指定文化財＞ 白鳥湾海底部等出土の貝化石及び材化石の標本の公開
室蘭市	公 開	＜市指定文化財＞ 輪西屯田兵記念碑、旧火薬庫及び関係資料の公開
室蘭市	公 開	＜国指定史跡＞ 史跡東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡(同台場・勤番所跡)の公開
室蘭市	公 開	＜国指定史跡＞ 名勝ピッカノカ絵鞆半島外海岸の公開
室蘭市	公 開	＜国登録有形文化財＞ 室蘭市旧室蘭駅舎の公開
苫小牧市	展覧会・展示会	＜道指定有形文化財＞ 丸木舟の展示
登別市	展覧会・展示会	常設展示
登別市	展覧会・展示会	常設展示（「土地の記憶たち」）
伊達市	展覧会・展示会	＜国指定重要文化財＞ 有珠モシリ遺跡出土品の公開
伊達市	展覧会・展示会	＜国指定重要文化財＞ 蝦夷三官寺善光寺関係資料の公開
伊達市	展覧会・展示会	＜道指定有形文化財＞ 釈迦如来立像・円空作聖観音像の公開
日高町	公 開	＜国登録有形文化財＞ 飯田家住宅主屋・飯田家住宅座敷棟一般公開
平取町	公 開	＜国登録有形文化財＞ 旧マンロー邸一般公開

平取町	展覧会・展示会	平取町立二風谷アイヌ文化博物館常設展示
平取町	展覧会・展示会	平取町立二風谷アイヌ文化博物館第 22 回特別展「沙流に受け継がれたアイヌの祭祀具」
浦河町	公 開	<町指定有形文化財> 縄文土器
浦河町	公 開	<町指定有形文化財> 迎賓馬車
浦河町	展覧会・展示会	<国指定重要無形民俗文化財> アイヌ古式舞踊の公開
様似町	展覧会・展示会	様似郷土館 常設展示
新ひだか町	展覧会・展示会	新ひだか町 10 周年記念・新ひだか町博物館開館 1 周年記念「静内高等学校郷土史研究部・文化人類学研究部の足跡」
新ひだか町	展覧会・展示会	<道指定有形文化財> 「静内御殿山墳墓群出土の遺物」の公開
新ひだか町	展覧会・展示会	有形文化財「静内中野式土器」(新ひだか町指定)の公開
新ひだか町	展覧会・展示会	<国指定重要無形民俗文化財> 「アイヌ古式舞踊」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
新ひだか町	展覧会・展示会	<町指定無形文化財> 「淡路豊年桝踊り」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
新ひだか町	展覧会・展示会	<町指定無形文化財> 「歌笛越前踊り」の映像 ※新ひだか町博物館の映像展示
新ひだか町	展覧会・展示会	<町指定無形文化財> 「エゾオオカミの頭蓋骨」公開
新ひだか町	公 開	<国指定史跡> 「シベチャリ川流域チャシ跡群及びアッペツチャシ跡」のうち、シベチャリ川流域チャシ跡群の公開
新ひだか町	公 開	<道指定史跡> 「静内御殿山墳墓群」の公開
新ひだか町	公 開	<町指定名勝> 「蓬萊山」の公開
函館市	公 開	市立函館博物館 本館 祝日開館
函館市	公 開	文化の日企画「西部文化施設 3 館ツアー」
函館市	公 開	市立函館博物館 郷土資料館 祝日開館
函館市	展覧会・展示会	旧函館区公会堂の公開
函館市	展覧会・展示会	市立函館博物館郷土資料館「旧金森洋物店」(常設展示)
函館市	展覧会・展示会	函館市旧イギリス領事館(常設展示)
函館市	展覧会・展示会	国宝「中空土偶」(常設展示)
函館市	展覧会・展示会	収蔵資料展「アイヌの生業―捕る・獲る・採る―」
函館市	展覧会・展示会	企画コーナー「亀井勝一郎～没後 50 年に寄せて」
函館市	展覧会・展示会	平成 28 年度 企画展「新収蔵資料展」
函館市	展覧会・展示会	石川啄木直筆資料展「明治 41 年 4 月の書簡」
北斗市	展覧会・展示会	<市指定有形文化財> 鶉山道石版画等の展示公開
北斗市	展覧会・展示会	第 4 回企画展 発掘出土遺物展(縄文～近世まで)
松前町	展覧会・展示会	「蠣崎波響とその弟子 作品展」(仮)
福島町	展覧会・展示会	<道指定有形文化財> 宮歌村文書(写し)一般公開
福島町	展覧会・展示会	埋蔵文化財一般公開
福島町	展覧会・展示会	<町指定文化財> 円空仏(レプリカ)一般公開
知内町	展覧会・展示会	<国指定重要文化財> 湯の里 4 遺跡土壌出土品
木古内町	展覧会・展示会	郷土資料館公開事業

七飯町	公 開	<町指定有形文化財> 迫田家文書
七飯町	公 開	<町指定有形文化財> 飯田甚兵衛の地蔵
森 町	公 開	<国指定史跡> 鷲ノ木遺跡見学会
森 町	展覧会・展示会	鷲ノ木遺跡と縄文文化
八雲町	展覧会・展示会	コタン温泉遺跡出土品展
長万部町	展覧会・展示会	埋蔵文化財展示
江差町	公 開	<国指定重要文化財> 「旧中村家住宅」の公開
江差町	公 開	<道指定有形文化財> 「旧檜山爾志郡役所」の公開
上ノ国町	公 開	<国指定重要文化財> 「旧笹浪家住宅」の公開
上ノ国町	公 開	勝山館跡ガイダンス施設の公開
上ノ国町	公 開	上之国館調査整備センター収蔵品の公開・展示
上ノ国町	公 開	<国指定重要文化財> 上之国勝山館跡出土品の公開・展示
乙部町	展覧会・展示会	郷土資料館特別開館
今金町	展覧会・展示会	乙部町公民館郷土資料室 常設展示
今金町	展覧会・展示会	稲穂ふれあい研修センター開館事業
せたな町	公 開	奥尻島津波館開館事業
せたな町	公 開	<国指定有形文化財> 史跡ピリカ遺跡出土石器の一般公開
せたな町	公 開	<町指定民俗文化財> 上田式豆まき器の一般公開
せたな町	公 開	<町指定有形文化財> 荻野吟子 遺品・資料
奥尻町	展覧会・展示会	<町指定有形文化財> 青い目の人形
奥尻町	展覧会・展示会	<町指定有形文化財> 兜
厚沢部	公 開	<町指定有形文化財> 阿波浄瑠璃人形
旭川市	公 開	<市指定有形文化財> 上川郡農作試験所事務所棟（忠別太駅通第一美英舎）
旭川市	公 開	<市指定有形文化財> 養蚕民家
旭川市	公 開	<市指定有形文化財> 旧神居古潭駅舎
旭川市	展覧会・展示会	<道指定有形文化財> 旭川兵村中隊記録及び屯田物語原画綴り
旭川市	展覧会・展示会	<市指定有形文化財> 第七師団関係記録
旭川市	展覧会・展示会	博物館無料開放「アイヌ文化に親しむ日」
士別市	展覧会・展示会	市指定史跡多寄遺跡出土品展示公開
富良野市	展覧会・展示会	富良野市博物館常設展示
鷹栖町	展覧会・展示会	郷土資料の展示
東神楽町	展覧会・展示会	東神楽町郷土資料展示会
美瑛町	展覧会・展示会	郷土館の公開
上富良野町	公 開	<町指定有形文化財> 明治の家の公開
上富良野町	公 開	美瑛町文化財第1号「高橋北修筆（絵画）全6点のうち2点常設展示
上富良野町	公 開	<町有形文化財> 東中尋常高等小学校御神影奉置所
東川町	公 開	<町指定史跡> 憩の楡跡の碑

東川町	公 開	<町指定史跡> 富原地区の地神及び山の神
占冠村	展覧会・展示会	占冠村総合文化祭
下川町	公 開	ふるさと交流館 常設展示
下川町	公 開	郷土資料展示保存施設 常設展示
中川町	公 開	中川町エコミュージアムセンター自然誌博物館常設展示事業
増毛町	公 開	<国指定重要文化財> 旧本間家住宅の公開
天塩町	展覧会・展示会	天塩川歴史資料館
浜頓別町	展覧会・展示会	ブタウス遺跡発掘調査展示(常設展示)
浜頓別町	展覧会・展示会	特別展示「日の出遺跡(浜頓別町クッチャロ湖畔竪穴群)展」
浜頓別町	展覧会・展示会	宗谷管内巡回展「宗谷の近代化と路(みち)展」
浜頓別町	展覧会・展示会	開村100周年・町制施行65周年記念パネル展示
枝幸町	展覧会・展示会	埋蔵文化財展示室・常設展示
枝幸町	展覧会・展示会	歴史系展示室・常設展示
枝幸町	展覧会・展示会	特別展「馬と宗谷の暮らし」
礼文町	展覧会・展示会	<国指定重要文化財> 北海道船泊遺跡出土品展示公開事業
礼文町	展覧会・展示会	<道指定有形文化財> 礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像展示公開事業
礼文町	展覧会・展示会	<町指定有形文化財> 上泊3遺跡出土遺物展示公開事業
利尻町	公 開	<道・町指定有形文化財> 亦稚貝塚出土物の公開
網走市	展覧会・展示会	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(宿泊施設)
網走市	展覧会・展示会	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(市役所ロビー)
網走市	展覧会・展示会	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(女満別空港)
網走市	展覧会・展示会	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(モヨロ貝塚館)
網走市	展覧会・展示会	モヨロ貝塚出土資料の常設展示(網走市郷土博物館)
網走市	展覧会・展示会	特別展「北からの文化の波―北海道の旧石器からオホーツク文化まで―」
網走市	展覧会・展示会	ロビー展「北で編まれるバスケット」
網走市	展覧会・展示会	「北海道の重要文化財建造物巡り」展
北見市	展覧会・展示会	北網圏北見文化センター博物展示
北見市	公 開	美里洞窟遺跡公開
北見市	公 開	<市指定有形文化財> 武華駅通
北見市	展覧会・展示会	留辺蘂町開拓資料館
北見市	公 開	<市指定有形文化財> ピアソン記念館
北見市	公 開	<市指定有形文化財> ハッカ記念館
北見市	公 開	ところ遺跡の館 常設展示
北見市	公 開	ところ埋蔵文化財センター 常設展示
北見市	公 開	薄荷蒸溜館

北見市	公 開	端野町歴史民俗資料館 常設展示
紋別市	公 開	<国登録有形文化財>旧上藻別駅通所
紋別市	公 開	オムサロ遺跡公園
紋別市	公 開	小向原生花園
大空町	公 開	美幌博物館常設展示
美幌町	公 開	美幌博物館開館記念日
美幌町	公 開	津別町郷土資料室
興部町	展覧会・展示会	くねっぷ歴史館常設展示公開
津別町	展覧会・展示会	<国指定重要文化財> 北海道白滝遺跡群出土品の公開
訓子府町	公 開	<道指定有形文化財> 幌加川遺跡出土の石器群の公開
遠軽町	展覧会・展示会	遠軽町埋蔵文化財センター展示室「黒曜石ギャラリー」
遠軽町	展覧会・展示会	遠軽町埋蔵文化財センター展示室「遠間栄治記念室」
湧別町	公 開	興部町郷土資料館一般公開
湧別町	公 開	大空町女満別文化展(郷土資料室一般公開)
帯広市	展覧会・展示会	帯広百年記念館常設展示
帯広市	公 開	<市指定有形文化財>十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号
帯広市	公 開	文化財めぐり
音更町	展覧会・展示会	郷土資料室 常設展示
芽室町	展覧会・展示会	農業関連資料及び町内出土埋蔵文化財等の常設展示
中札内村	展覧会・展示会	絵画コレクション展示
中札内村	展覧会・展示会	第 6 1 回中札内村民文化祭
大樹町	公 開	晩成社史跡公園の公開
大樹町	公 開	旭浜トーチカの公開
大樹町	公 開	大樹町郷土資料館の公開
大樹町	公 開	<道指定史跡>十勝ホロカヤントー竪穴群の公開
広尾町	公 開	<道指定有形文化財>東蝦新道記彫字板(レプリカ)
豊頃町	展覧会・展示会	郷土資料情報室「歴史の森」常設展
本別町	展覧会・展示会	埋蔵文化財、文化的資料の常設展示
本別町	展覧会・展示会	町指定文化財の常設展示
足寄町	展覧会・展示会	夜の博物館～ナイトミュージアム
陸別町	展覧会・展示会	史跡ユクエピラチャシ跡展
浦幌町	公 開	近代化遺産の日見学会「浦幌の近代化遺産:レンガ遺構を見て回ろう」
浦幌町	展覧会・展示会	農機具展
浦幌町	展覧会・展示会	<町指定無形文化財> 開拓獅子舞
浦幌町	展覧会・展示会	アイヌ文化伝製品
釧路町	展覧会・展示会	第 15 回釧路町文化フェスティバル

釧路町	公 開	釧路町郷土資料館開設及び郷土資料展
釧路町	公 開	チャシ跡出土品展示
厚岸町	展覧会・展示会	厚岸町海事記念館無料開館
厚岸町	展覧会・展示会	厚岸町郷土館無料開館
厚岸町	展覧会・展示会	厚岸町太田屯田開拓記念館無料開館
白糠町	公 開	上茶路遺跡出土資料展示
根室市	公 開	＜道指定有形文化財＞ 和田屯田兵村の被服庫
根室市	公 開	＜道指定有形文化財＞ 初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物
根室市	公 開	＜市指定有形文化財＞ 穂香堅穴群出土の動物意匠付土器、明治牧場の大金庫、俄羅斯船之図及びワシレイラフロウ図
根室市	公 開	＜国指定史跡＞ 根室半島チャシ跡群 史跡案内ガイダンス活動
別海町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 奥行臼駅
別海町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所
別海町	公 開	＜町指定有形文化財＞ 加賀家文書
別海町	公 開	＜町指定天然記念物＞ 野付半島沖マンモスゾウ化石群
中標津町	公 開	＜国登録有形文化財＞ 旧北海道農事試験場根室支場陳列館
標津町	展覧会・展示会	新収蔵資料展
羅臼町	展覧会・展示会	羅臼の歴史・自然・文化について(パネル紹介)

〔体験・イベント〕

市町村名	区 分	事 業 名
江別市	体 験	縄文人に挑戦
千歳市	体 験	勾玉をつくろう！
千歳市	体 験	縄文クッキーをつくろう！
伊達市	体 験	史跡解説、体験学習(発掘体験・勾玉作り等)、特別展
安平町	イベント	ドングリまつり
様似町	体 験	様似山道歩こう会
函館市	体 験	縄文体験講座「縄文土器づくり」(全2回) ①土器づくり②土器野焼き体験
函館市	体 験	体験！日本画教室
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 木村流大正琴&ハーモニカアンサンブル ふくろうの会
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 北海道大学水産学部交響楽団 公会堂コンサート
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 HAKODATE ENSEMBLE Lab Concert 2016
函館市	イベント	〈公会堂コンサート〉 第19回「日本の歌」歌うコンサート
愛別町	イベント	愛別町文化祭芸能発表会

東川町	イベント	<町指定無形文化財>羽衣太鼓の公演
苫前町	体験	考古学教室出前講座(勾玉づくり体験)
枝幸町	体験	出前教室「昔の織りもの作り教室」
礼文町	イベント	縄文八十八箇所めぐりスタンプラリー
網走市	体験	サラニブ(編み袋)作り
網走市	体験	簡単カメラ作りと楽しい映
弟子屈町	体験	アイヌ文様刺繍体験及びアイヌ文様切り絵体験
弟子屈町	体験	アイヌ民族衣装試着体験
白糠町	イベント	ししやも祭り

〔講演会・講座〕

市町村名	区 分	事 業 名
札幌市	講演会等	豊平館講演会
札幌市	講演会等	第 34 回時計台まつり記念演奏会
千歳市	講演会等	平成 28 年度企画展「伊勢堂岱遺跡 4つの環状列石とマツリ」
石狩市	講演会等	体験講座「縄文の川と暮らしをジオラマで作ろう」
石狩市	講演会等	講演会「縄文の暮らしと石器―石狩紅葉山 49 号遺跡出土の石器使用痕分析からわかること―」
豊浦町	講演会等	礼文華山道探索会(仮称)
豊浦町	講演会等	縄文土器づくり(仮称)
白老町	講演会等	白老地域学講座開講事業「しらおいマメ知識講座」
洞爺湖町	講演会等	縄文ロビー講座
平取町	講演会等	平取町立二風谷アイヌ文化博物館公開セミナー「アイヌ民俗文化財を解き明かす科学の力―アイヌ工芸技術の継承に向けて」
函館市	講演会等	やさしく学ぶ「北海道南部のアイヌ語」
函館市	講演会等	ミュージアム・トーク「夷酋列像の真実―松前藩と北方事情―」
木古内町	講演会等	木古内町郷土学習講座
士別市	講演会等	考古学教室出前講座
網走市	講演会等	講演会「北海道の歴史的建造物の魅力」
浦幌町	講演会等	夜学講座「近代化遺産ってなに？」
浦幌町	講演会等	うらほろスタイル講座「浦幌の埋蔵文化財」
釧路市	講演会等	まりも祭りセミナー
釧路市	講演会等	マリモ生育地観察会
白糠町	講演会等	アイヌ文化出前講座(白糠小学校)
白糠町	講演会等	アイヌ文化出前講座(白糠中学校)

・平成 28 年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm>

(8) 平成 28 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 37 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝・文 化的景観	天然記念物	伝統的建造 物保存地区	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール 対象件数	58	52	13	47	1	12,186	
パトロール 実施件数	50	58	14	48	1	267	438

(9) 平成 28 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

〔国指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	12	0	40	52
北海道教育委員会	2	0	11	13
市町教育委員会	25	0	14	39

〔道指定〕

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	1	18	19

(10) 平成 28 年度銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲や美術品として価値のある刀剣類について、新規の登録や所有者変更等の事務を行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
110	39	746	48	3	946

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	196	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	50
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	62		(上川計)	1,073		(ホ-ツ計)	2,267
	美瑛市	6		留寿都村	7		北斗市	106		留萌市	28		帯広市	62
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	106
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		土幌町	40
	三笠市	12		倶知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	31
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	953		遠別町	5		清水町	37
	深川市	79		神恵内村	10		江差町	64		天塩町	43		芽室町	65
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5
	奈井江町	22		古平町	11	檜山	厚沢部町	54		稚内市	140	勝	更別村	16
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	33
	由仁町	37		余市町	64		せたな町	70		浜頓別町	20		広尾町	21
	長沼町	61		赤井川村	67		奥尻町	32	宗谷	中頓別町	8		幕別町	132
	栗山町	37		(後志計)	807		今金町	59		枝幸町	71		池田町	58
	月形町	8	知	室蘭市	37		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52
	浦臼町	48		苫小牧市	284	上川	旭川市	216		礼文町	55		本別町	99
	新十津川	15		登別市	33		士別市	47		利尻町	11		足寄町	114
	妹背牛町	4		伊達市	90		名寄市	150		利尻富士町	20		陸別町	55
	秩父別町	8		豊浦町	20		富良野市	141		幌延町	20		浦幌町	58
	雨竜町	5		洞爺湖町	15		鷹栖町	28		(宗谷計)	379		(十勝計)	1,109
	北竜町	10		壮瞥町	1		東神楽町	25	オホshima	網走市	168	釧路	釧路市	137
	沼田町	6		白老町	45		当麻町	18		北見市	479		釧路町	76
	(空知計)	563		安平町	81		比布町	22		紋別市	67		厚岸町	90
石狩	札幌市	539	後志	厚真町	139		愛別町	23		大空町	65		浜中町	121
	江別市	142		むかわ町	106		上川町	23		美幌町	132		標茶町	208
	千歳市	292		(胆振計)	851		東川町	23		津別町	64		弟子屈町	50
	恵庭市	132		日高町	132		美瑛町	43		斜里町	379		鶴居村	73
	北広島市	59		平取町	127		上富良野町	37		清里町	35		白糠町	31
	石狩市	220		新冠町	43		中富良野町	35		小清水町	42		(釧路計)	786
	当別町	18		新ひだか町	153		南富良野町	25		訓子府町	267	根室	根室市	308
	新篠津村	2		浦河町	58		占冠村	11		置戸町	105		別海町	88
	(石狩計)	1,404		様似町	29		和寒町	36		佐呂間町	38		中標津町	67
	小樽市	102		えりも町	67	渡島	剣淵町	30		遠軽町	221		標津町	191
後志	島牧村	24		(日高計)	609		下川町	70		湧別町	56		羅臼町	82
	寿都町	43		函館市	322		美深町	42		滝上町	46		(根室計)	736
	黒松内町	51		松前町	122		音威子府村	10		興部町	39		計 12,186	
	蘭越町	48		福島町	33		中川町	10		西興部村	14		(前年比 23 箇所増)	

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」を御覧ください。→

<http://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 28 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積 (ha)
埋蔵文化財保護のための事前協議	582	
平成 28 年度北海道実施の所在調査	112	8,738.185
平成 28 年度北海道実施の試掘調査	43	127.366

(3) 平成 28 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
空知	7	526.796	4	12.220
石狩	13	114.867	8	23.658
後志	19	276.592	3	10.588
胆振	18	310.258	12	33.484
日高	1	1.691	2	6.646
渡島	11	96.115	7	19.137
檜山	1	0.500	0	0

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
上川	3	5.704	1	0.300
留萌	3	15.072	0	0
宗谷	3	1168.403	0	0
オホーツク	8	1480.218	1	2.960
十勝	23	4087.657	5	18.373
釧路	1	533.000	0	0
根室	1	0.040	0	0

(4) 平成 28 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	面積 (ha)
空知	1	72
石狩	10	7,981
後志	2	47
胆振	21	29,512
日高	2	192
渡島	13	15,615
檜山	0	0

管内	件数	面積 (ha)
上川	1	800
留萌	0	0
宗谷	2	56
オホーツク	7	686
十勝	3	980
釧路	0	0
根室	3	6,810
合計	65	62,751

・平成 28 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h28gaiyou.htm>

(5) 平成 28 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	2	24	16	0	42
法第 94 条	0	7	54	28	1	90

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 28 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	1	1
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※ 北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 28 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	54	6	60	2,345
政令市・中核市	4	12	16	210

(8) 平成 28 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	13	14	461

※ 箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画）（改定版平成 25 年 3 月）

基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向 1 1 文化・芸術活動の推進

施策項目 3 6 文化財の保存・活用

● 現 状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財[®]が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するためには欠かせないものであり、道民の共有財産です。これらの文化財は過疎化や少子高齢化など時代の推移により、保存や伝承が困難となっているものもあることから、次の世代に確実に守り伝えていくことが重要な課題です。

このような中、文化財の保存・活用や、アイヌ民俗文化財[®]の調査・保存・伝承活動、世界遺産[®]登録へ向けた北東北 3 県と連携した取組などの推進を図ってきました。

このうち、「世界遺産登録へ向けた取組」では、内浦湾沿岸の縄文遺跡群が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、ユネスコの世界遺産暫定リスト[®]に記載されたところであり、今後は、関係自治体と連携し、推薦書案の作成や国際会議を実施するなど、登録に向けた取組を積極的に推進していく必要があります。

先人が大切に守り継いできた貴重な文化財の数々を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責任であり、今後とも、多くの人々が文化財の素晴らしさを知り、保護の大切さを学び、共通理解のもと、将来にわたって継承していく環境の整備に努めていく必要があります。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を着実に推進します。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に取り組めます。

● 施策の対応方向及び主な取組

施策の対応方向	主な取組
■ 文化財の調査・保存・活用の推進 ① 有形・無形の文化財、史跡 [®] ・名勝 [®] ・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。	・ 未指定文化財の調査 ・ 文化財の指定・登録の推進 ・ 文化財の現状把握 ・ 文化財の保存整備
■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ① アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進します。	・ アイヌ民俗文化財調査や翻訳の推進 ・ 伝承者の養成や地域住民の理解促進のための講座の実施
■ 世界遺産登録へ向けた取組の推進 ① 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産 [®] への登録へ向けた取組を推進します。	・ 4 道県（北海道・青森・秋田・岩手）共同での国際的合意形成に向けた国際会議の開催
■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ① 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組めます。	・ 北海道文化財保護強読月間[®]における文化財公開等の促進 ・ 小・中学生向けのニュースレターの発行

● 目標指標

指 標	指 標 の 概 要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H 2 3 312件	H 2 9 330件
文化財の保存・活用への取組状況	北海道文化財保護強読月間(10月8日～11月7日)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	H 2 4 33.1%	H 2 9 50%
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H 2 3 2,434人	H 2 9 2,500人

(2) 平成 28 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。

なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話：(011)204-5749 FAX：(011) 232-1076

平成 28 年度は次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
平成 28 年 9 月 27 日(火)	13：30 ～16：00	北海道立道民活動 センター（かでる 2・7）9 階 920	・文化財の指定(登録)の状況について ・道指定文化財の指定に向けた取組について
平成 29 年 3 月 15 日(水)	14：00 ～16：30	北海道庁別館 8 階 1 号会議室	・文化財の指定(登録)の状況について ・道指定文化財の指定に向けた取組について ・道指定文化財の諮問に対する答申について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧（平成 29 年 3 月 31 日現在）

[任期：平成 28 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日]

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	東海大学教授
児 島 恭 子	札幌学院大学教授
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
鈴 木 幸 人	北海道大学大学院准教授
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校特任教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和 之	函館工業高等専門学校教授
白 木 彩 子	東京農業大学生物産業学部准教授
角 美弥子	北海道教育大学岩見沢校准教授
山 本 健 一	北海道開発局開発監理部長
中 村 毅	北海道森林管理局計画保全部長

- ・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 28 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 28 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 28 年 6 月 17 日(金)	10:00～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 28 年 8 月 26 日(金)	10:00～15:00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室(旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 28 年 11 月 28 日(月)	10:00～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 29 年 2 月 14 日(火)	10:00～15:00	道庁別館地下 1 階大会議室(札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員

[任期: 平成 28 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日]

銃砲刀剣類登録審査委員	審 査 会 場
梶 睦	札幌(11 月、2 月)
川 合 喜與文	札幌(11 月、2 月)
堀 井 重 克	札幌(6 月)、旭川(8 月)、札幌(2 月)
松 木 謙 一	札幌(6 月)、旭川(8 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 28 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	1103	1330	1527	1689	1257	988	758	720	431	763	361	866	11,793

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 28 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5	2	8	7	6	1	5	4	5	6	4	10	63

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 27 年度発掘調査報告会	平成 28 年 4 月 16 日	68 人
	夏季講演会	平成 28 年 7 月 23 日	114 人
	秋季講演会	平成 28 年 1 月 26 日	139 人
考古学講座	考古学を知る・学ぶ 1	平成 28 年 5 月 28 日	68 人
	考古学を知る・学ぶ 3	平成 28 年 9 月 24 日	114 人
	考古学を知る・学ぶ 4	平成 28 年 10 月 22 日	20 人
	考古学を知る・学ぶ 6	平成 29 年 1 月 28 日	114 人
	考古学を知る・学ぶ 7	平成 29 年 3 月 11 日	101 人
体験型講座	まいぶん遺跡探検隊 第 1 次	平成 28 年 7 月 24 日	21 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 2 次	平成 28 年 8 月 7 日	30 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 3 次	平成 28 年 8 月 7 日	20 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 4 次	平成 29 年 1 月 14 日	21 人
	まいぶん遺跡探検隊 第 5 次	平成 29 年 2 月 4 日	8 人
研修会	平成 28 年度埋蔵文化財担当職員出前研修会	平成 28 年 9 月 1 日	10 人
	平成 28 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 28 年 12 月 8・9 日	22 人

④ 平成 28 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 「北の縄文―縄文探訪と縄文工房―」展	平成 28 年 7 月 9 日～9 月 25 日
2	北海道遺跡百選 9 「縄文人と手形・足形―美々・美沢と北海道の遺跡から―」	平成 28 年 12 月 3 日～29 年 2 月 26 日
3	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 27 年度発掘調査成果展	平成 28 年 3 月 26 日～5 月 29 日
4	世界遺産をめざす北の縄文展	通 年

⑤ 平成 28 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
白糠町	白糠町立庶路小学校	平成 28 年 5 月 21 日	24 名
浦幌町	浦幌町立博物館	平成 28 年 7 月 20 日	16 名
根室市	根室市立厚床小学校	平成 28 年 9 月 19 日	11 名
厚岸町	厚岸町立真龍小学校	平成 28 年 9 月 20 日	28 名
上川町	上川町かみんぐホール	平成 28 年 9 月 20 日	7 名
木古内町	木古内町立中央公民館	平成 28 年 10 月 4 日	19 名
置戸町	置戸町中央公民館	平成 28 年 10 月 25 日	15 名

(7) 平成 28 年度北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会

北海道教育委員会では、北海道東部に所在する竪穴群に関する基礎的な情報や現状の把握を目的として、平成 27 年度から 29 年度まで「北海道東部の竪穴住居跡群調査 第 1 次調査」を実施しており、平成 28 年度からは、竪穴群調査の適切な実施や竪穴群の保存活用の推進を目的として、有識者や竪穴群調査の関係者が意見交換を行う「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」を開催しています。

有識者は、竪穴群の研究・調査経験を有する 3 名で構成され、懇談会の都度、文化財・博物館課長が会議への出席を依頼します。

懇談会の会議の傍聴については、事前に電話で申し込むか、当日、懇談会の開催予定時刻までに受付で氏名、住所を記入し、座長の許可を受けると傍聴することができます（先着順、10 名以内）。

申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財調査グループ

直通電話：(011)204-5750 FAX：(011)232-1076

平成 28 年度は、次のとおり開催しました。

開催年月日	時 間	場 所	意見交換の内容
平成 28 年 6 月 22 日(水)	9 時 30 分～11 時 30 分	北海道庁別館 7 階教育庁会議室	・北海道東部の大規模竪穴住居跡群をめぐる研究の現状と課題について ・竪穴群調査計画について
平成 28 年 9 月 15 日(木)	15 時 00 分～16 時 30 分	湧別町文化センター さぎ波 会議室	・標津町の竪穴群調査について ・湧別町シブノツナイ竪穴住居跡（道指定史跡）の調査について
平成 28 年 12 月 13 日(火)	9 時 30 分～11 時 30 分	北海道庁 2 階 共用会議室	・カムチャツカ・千島の竪穴群について ・湧別町シブノツナイ竪穴住居跡（道指定史跡）の調査について（28 年度、29 年度以降）

(8) 北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会有識者一覧

氏 名	所 属 等
熊 木 俊 朗	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
高 瀬 克 範	北海道大学大学院文学研究科准教授
梶 田 光 明	元ポー川史跡自然公園長

・北海道東部の竪穴住居跡群調査 第 1 次調査について

<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/chousa-daiichiji.htm>

(9) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を 見ることのできる 主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度刊行しています。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 27 年度北海道文化財年報	平成 28 年 10 月 5 日	平成 27 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/H27hokkaiduobunkazai-nennpou.pdf
平成 28 年度文化財保護強調月間	平成 28 年 10 月 7 日	北海道文化財強調月間（10 月 8 日～11 月 7 日）期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要（平成 28 年度版）	平成 29 年 3 月 13 日～	平成 28 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h28gaiyou.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm
北海道の竪穴群	平成 28 年 10 月 11 日～ (随時更新)	「北海道東部の竪穴住居跡群調査」・「北海道東部の竪穴住居跡群調査懇談会」の内容や竪穴群に関する説明資料・海外の文献等を公開しています。
		URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/pd/portal.htm

(10) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部文化・スポーツ局文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	一般財団法人北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/